

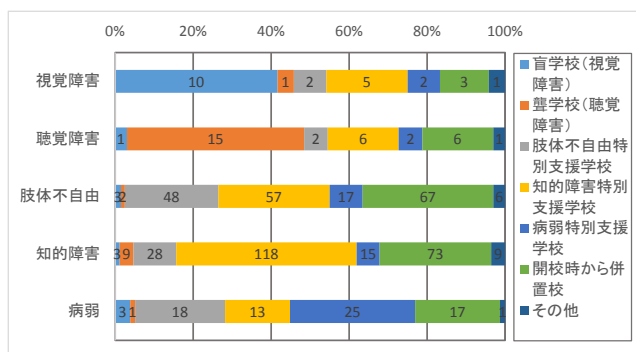
# 報告 7 併置校

はじめに

併置校を対象に、単独から併置になった際の変化や、課題について調査を行った。

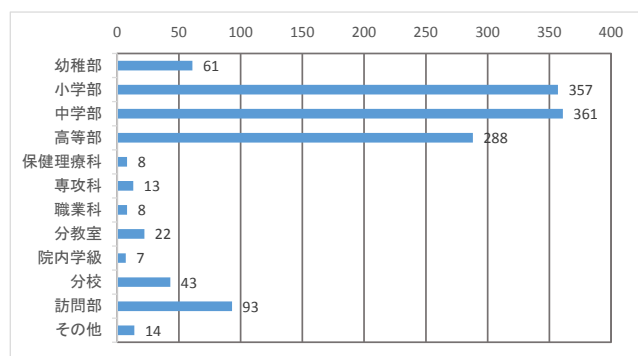
【107】 単独障害種別時の障害種別について、お答えください。《単一選択》

	盲学校(視覚障害)	聾学校(聴覚障害)	肢体不自由特別支援学校	知的障害特別支援学校	病弱特別支援学校	開校時から併置校	その他
合計	10	16	51	121	26	78	9
%	(3.2)	(5.1)	(16.4)	(38.9)	(8.4)	(25.1)	(2.9)
視覚障害	10	1	2	5	2	3	1
%	(41.7)	(4.2)	(8.3)	(20.8)	(8.3)	(12.5)	(4.2)
聴覚障害	1	15	2	6	2	6	1
%	(3)	(45.5)	(6.1)	(18.2)	(6.1)	(18.2)	(3)
肢体不自由	3	2	48	57	17	67	6
%	(1.5)	(1)	(24)	(28.5)	(8.5)	(33.5)	(3)
知的障害	3	9	28	118	15	73	9
%	(1.2)	(3.5)	(11)	(46.3)	(5.9)	(28.6)	(3.5)
病弱	3	1	18	13	25	17	1
%	(3.8)	(1.3)	(23.1)	(16.7)	(32.1)	(21.8)	(1.3)



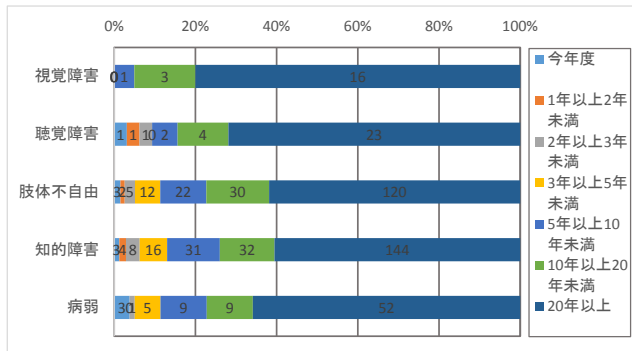
【108】併置になる前に設置されていた学部・学科等について、お答えください。《複数選択可》

	幼稚部	小学部	中学部	高等部	保健医療科	専攻科	職業科	分教室	院内学級	分校	訪問部	その他
合計	30	172	173	140	3	6	3	10	3	20	40	8
%	(15.5)	(88.7)	(89.2)	(72.2)	(1.5)	(3.1)	(1.5)	(5.2)	(1.5)	(10.3)	(20.6)	(4.1)
視覚障害	6	15	15	11	3	3	1	1	0	3	5	0
%	(40)	(100)	(100)	(73.3)	(20)	(20)	(6.7)	(6.7)	(0)	(20)	(33.3)	(0)
聴覚障害	15	24	24	19	1	4	1	1	0	4	5	1
%	(60)	(96)	(96)	(76)	(4)	(16)	(4)	(4)	(0)	(16)	(20)	(4)
肢体不自由	13	124	125	105	1	1	2	8	2	14	32	6
%	(9.7)	(92.5)	(93.3)	(78.4)	(0.7)	(0.7)	(1.5)	(6)	(1.5)	(10.4)	(23.9)	(4.5)
知的障害	18	135	137	111	1	3	3	10	2	13	32	4
%	(11.5)	(86.5)	(87.8)	(71.2)	(0.6)	(1.9)	(1.9)	(6.4)	(1.3)	(8.3)	(20.5)	(2.6)
病弱	9	59	60	42	2	2	1	2	3	9	19	3
%	(14.5)	(95.2)	(96.8)	(67.7)	(3.2)	(3.2)	(1.6)	(3.2)	(4.8)	(14.5)	(30.6)	(4.8)



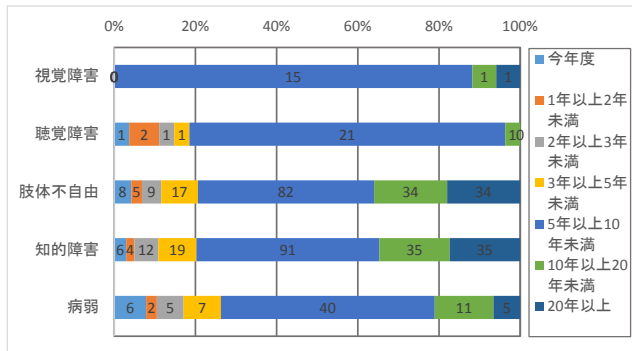
【109】開校年月日をお答えください。

	今年度	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上
合計	5	5	9	19	33	36	180
%	(1.7)	(1.7)	(3.1)	(6.6)	(11.5)	(12.5)	(62.7)
視覚障害	0	0	0	0	1	3	16
%	(0)	(0)	(0)	(0)	(5)	(15)	(80)
聴覚障害	1	1	1	0	2	4	23
%	(3.1)	(3.1)	(3.1)	(0)	(6.3)	(12.5)	(71.9)
肢体不自由	3	2	5	12	22	30	120
%	(1.5)	(1)	(2.6)	(6.2)	(11.3)	(15.5)	(61.9)
知的障害	3	4	8	16	31	32	144
%	(1.3)	(1.7)	(3.4)	(6.7)	(13)	(13.4)	(60.5)
病弱	3	0	1	5	9	9	52
%	(3.8)	(0)	(1.3)	(6.3)	(11.4)	(11.4)	(65.8)



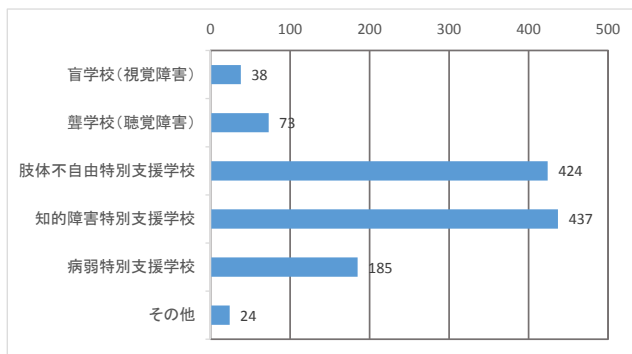
【110】併置となった年月日をお答えください。

	今年度	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上
合計	10	8	15	23	104	39	41
%	(4.2)	(3.3)	(6.3)	(9.6)	(43.3)	(16.3)	(17.1)
視覚障害	0	0	0	0	15	1	1
%	(0)	(0)	(0)	(0)	(88.2)	(5.9)	(5.9)
聴覚障害	1	2	1	1	21	1	0
%	(3.7)	(7.4)	(3.7)	(3.7)	(77.8)	(3.7)	(0)
肢体不自由	8	5	9	17	82	34	34
%	(4.2)	(2.6)	(4.8)	(9)	(43.4)	(18)	(18)
知的障害	6	4	12	19	91	35	35
%	(3)	(2)	(5.9)	(9.4)	(45)	(17.3)	(17.3)
病弱	6	2	5	7	40	11	5
%	(7.9)	(2.6)	(6.6)	(9.2)	(52.6)	(14.5)	(6.6)



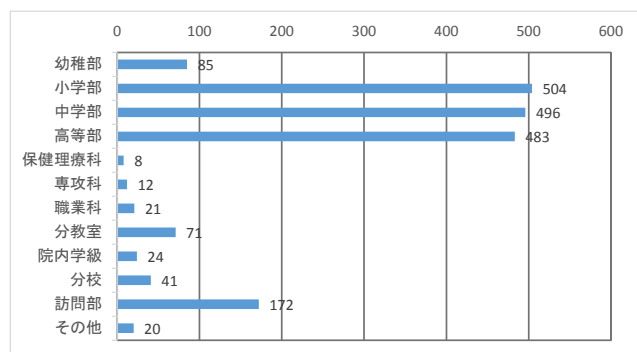
【111】併置後の障害種別について、お答えください。《複数選択可》

	盲学校(視覚障害)	聾学校(聴覚障害)	肢体不自由特別支援学校	知的障害特別支援学校	病弱特別支援学校	その他
合計	11	27	189	203	73	8
%	(4.4)	(10.8)	(75.6)	(81.2)	(29.2)	(3.2)
視覚障害	10	7	12	12	11	3
%	(55.6)	(38.9)	(66.7)	(66.7)	(61.1)	(16.7)
聴覚障害	6	23	15	26	10	4
%	(20)	(76.7)	(50)	(86.7)	(33.3)	(13.3)
肢体不自由	7	11	181	160	55	6
%	(3.6)	(5.6)	(91.9)	(81.2)	(27.9)	(3)
知的障害	8	24	163	196	44	6
%	(3.8)	(11.3)	(76.9)	(92.5)	(20.8)	(2.8)
病弱	7	8	53	43	65	5
%	(9)	(10.3)	(67.9)	(55.1)	(83.3)	(6.4)



【112】併置後の学部・学科等について、お答えください。《複数選択可》

	幼稚部	小学部	中学部	高等部	保健医療科	専攻科	職業科	分教室	院内学級	分校	訪問部	その他
合計	38	233	229	225	3	5	10	31	11	19	72	9
%	(15.1)	(92.5)	(90.9)	(89.3)	(1.2)	(2)	(4)	(12.3)	(4.4)	(7.5)	(28.6)	(3.6)
視覚障害	7	17	17	14	3	3	1	4	1	2	8	1
%	(38.9)	(94.4)	(94.4)	(77.8)	(16.7)	(16.7)	(5.6)	(22.2)	(5.6)	(11.1)	(44.4)	(5.6)
聴覚障害	18	28	28	26	1	3	2	5	1	3	9	2
%	(60)	(93.3)	(93.3)	(86.7)	(3.3)	(10)	(6.7)	(16.7)	(3.3)	(10)	(30)	(6.7)
肢体不自由	19	188	185	182	1	1	5	22	8	14	64	8
%	(9.6)	(94.9)	(93.4)	(91.9)	(0.5)	(0.5)	(2.5)	(11.1)	(4)	(7.1)	(32.3)	(4)
知的障害	28	197	193	194	1	3	10	25	5	16	60	7
%	(13.1)	(92.1)	(90.2)	(90.7)	(0.5)	(1.4)	(4.7)	(11.7)	(2.3)	(7.5)	(28)	(3.3)
病弱	13	74	73	67	2	2	3	15	9	6	31	2
%	(16.7)	(94.9)	(93.6)	(85.9)	(2.6)	(2.6)	(3.8)	(19.2)	(11.5)	(7.7)	(39.7)	(2.6)



■その他内容

【視覚障害】

高等部（産業科）

【聴覚障害】

高等部（産業科）／通級指導教室

【肢体不自由】

訪問部は設置していないが、訪問学級を設置している。／併置数年後に分教室設置／知的は高等部職業学科のみ／小中学部を分校とする／小学部・中学部は H6 年 4 月 1 日／施設内訪問学級／施設内併設校舎／高等部（産業科）／開校時より小中高等部設置 平成 21 年度から高等部のみ移転

【知的障害】

併置数年後に分教室設置／知的は高等部職業学科のみ／小中学部を分校とする／小学部・中学部は H6

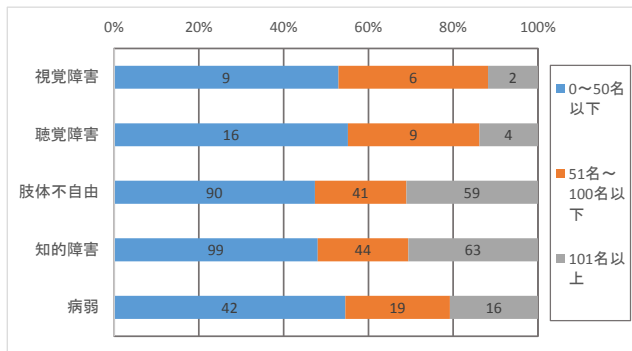
年 4 月 1 日／施設内訪問学級／施設内併設校舎／高等部（産業科）／開校時より小中高等部設置 平成  
21 年度から高等部のみ移転

**【病弱】**

訪問部は設置していないが、訪問学級を設置している。／高等部（産業科）

【113】併置後、児童・生徒数の増加数について、お答えください。《単一選択》

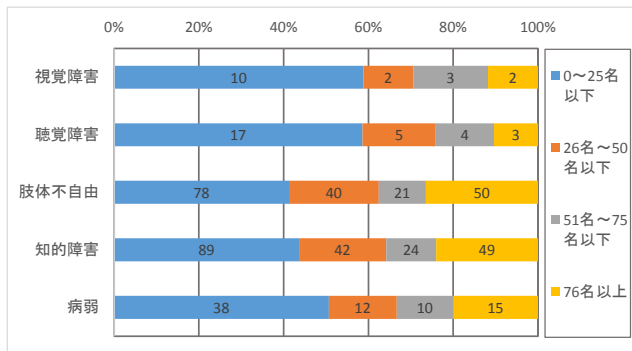
	0～50名以下	51名～100名以下	101名以上
合計	123	50	71
%	(50.4)	(20.5)	(29.1)
視覚障害	9	6	2
%	(52.9)	(35.3)	(11.8)
聴覚障害	16	9	4
%	(55.2)	(31)	(13.8)
肢体不自由	90	41	59
%	(47.4)	(21.6)	(31.1)
知的障害	99	44	63
%	(48.1)	(21.4)	(30.6)
病弱	42	19	16
%	(54.5)	(24.7)	(20.8)





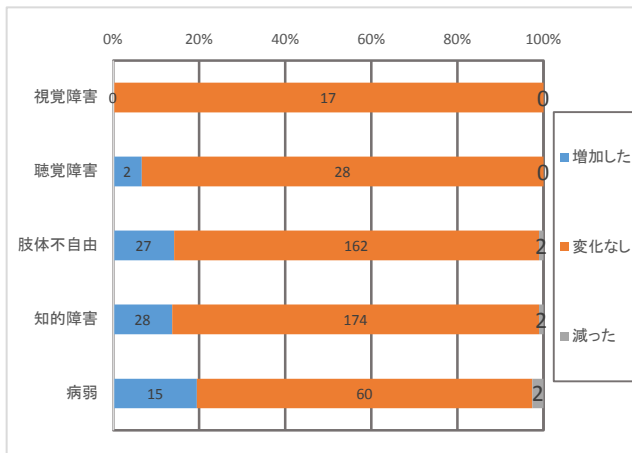
【114】併置後、教職員数の増加数について、お答えください。《単一選択》

	0～25名以下	26名～50名以下	51名～75名以下	76名以上
合計	108	50	25	57
%	(45)	(20.8)	(10.4)	(23.8)
視覚障害	10	2	3	2
%	(58.8)	(11.8)	(17.6)	(11.8)
聴覚障害	17	5	4	3
%	(58.6)	(17.2)	(13.8)	(10.3)
肢体不自由	78	40	21	50
%	(41.3)	(21.2)	(11.1)	(26.5)
知的障害	89	42	24	49
%	(43.6)	(20.6)	(11.8)	(24)
病弱	38	12	10	15
%	(50.7)	(16)	(13.3)	(20)



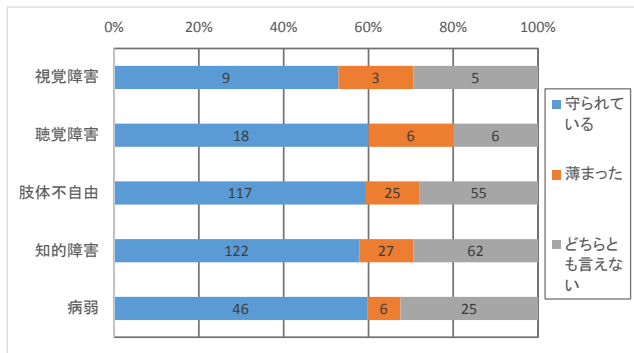
【115】敷地面積の増加の有無について、お答えください。《単一選択》

	増加した	変化なし	減った
合計	33	3	206
%	(13.6)	(1.2)	(85.1)
視覚障害	0	0	17
%	(0)	(0)	(100)
聴覚障害	2	0	28
%	(6.7)	(0)	(93.3)
肢体不自由	27	2	162
%	(14.1)	(1)	(84.8)
知的障害	28	2	174
%	(13.7)	(1)	(85.3)
病弱	15	2	60
%	(19.5)	(2.6)	(77.9)



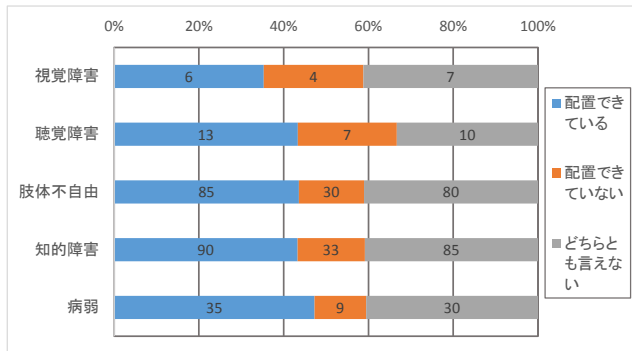
【116】併置後の障害種別の専門性の維持について、お答えください。《単一選択》

	守られている	薄まった	どちらとも言えない
合計	145	29	75
%	(58.2)	(11.6)	(30.1)
視覚障害	9	3	5
%	(52.9)	(17.6)	(29.4)
聴覚障害	18	6	6
%	(60)	(20)	(20)
肢体不自由	117	25	55
%	(59.4)	(12.7)	(27.9)
知的障害	122	27	62
%	(57.8)	(12.8)	(29.4)
病弱	46	6	25
%	(59.7)	(7.8)	(32.5)



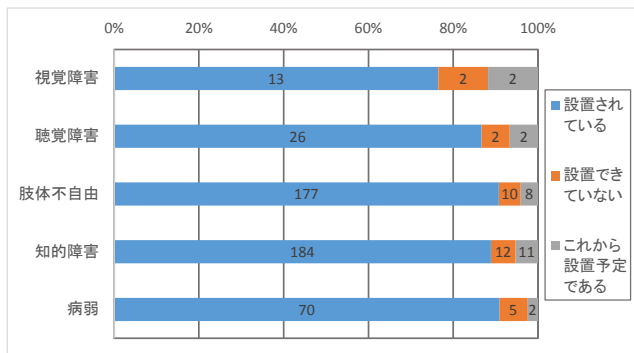
【117】障害種別に対応した専門性のある教員の配置について、お答えください。《単一選択》

	配置できている	配置できていない	どちらとも言えない
合計	110	35	99
%	(45.1)	(14.3)	(40.6)
視覚障害	6	4	7
%	(35.3)	(23.5)	(41.2)
聴覚障害	13	7	10
%	(43.3)	(23.3)	(33.3)
肢体不自由	85	30	80
%	(43.6)	(15.4)	(41)
知的障害	90	33	85
%	(43.3)	(15.9)	(40.9)
病弱	35	9	30
%	(47.3)	(12.2)	(40.5)



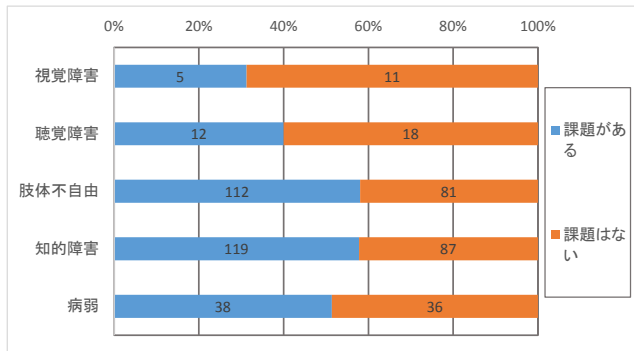
【118】併置校化後、多様な教育課程の設置について、お答えください。《単一選択》

	設置されている	設置できていない	これから設置予定である
合計	219	14	12
%	(89.4)	(5.7)	(4.9)
視覚障害	13	2	2
%	(76.5)	(11.8)	(11.8)
聴覚障害	26	2	2
%	(86.7)	(6.7)	(6.7)
肢体不自由	177	10	8
%	(90.8)	(5.1)	(4.1)
知的障害	184	12	11
%	(88.9)	(5.8)	(5.3)
病弱	70	5	2
%	(90.9)	(6.5)	(2.6)



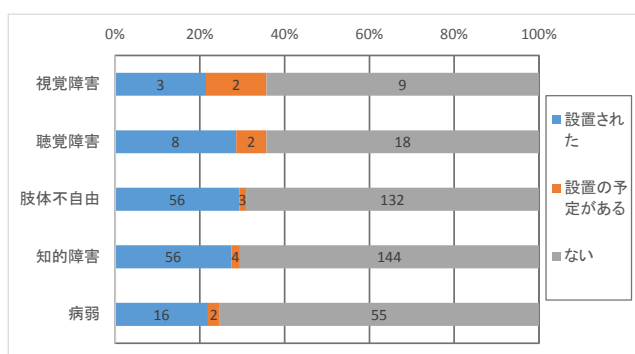
【119】併置校化に伴う教育課程上の課題について、お答えください。《単一選択》

	課題がある	課題はない
合計	138	105
%	(56.8)	(43.2)
視覚障害	5	11
%	(31.3)	(68.8)
聴覚障害	12	18
%	(40)	(60)
肢体不自由	112	81
%	(58)	(42)
知的障害	119	87
%	(57.8)	(42.2)
病弱	38	36
%	(51.4)	(48.6)



【120】併置校化により先進的な施設設備が設置されたかについて、お答えください。《単一選択》

	設置された	設置の予定がある	ない
合計	70	4	166
%	(29.2)	(1.7)	(69.2)
視覚障害	3	2	9
%	(21.4)	(14.3)	(64.3)
聴覚障害	8	2	18
%	(28.6)	(7.1)	(64.3)
肢体不自由	56	3	132
%	(29.3)	(1.6)	(69.1)
知的障害	56	4	144
%	(27.5)	(2)	(70.6)
病弱	16	2	55
%	(21.9)	(2.7)	(75.3)



## ■具体的な設置内容

### 【聴覚障害】

新校舎建築／視覚障害教育支援センター開設／産業科棟建設予定／教室棟の新設

### 【聴覚障害】

聴能室／聴能検査機器／聴覚障害部門にデジタル補聴援助システムを導入した。／赤外線補聴システム／産業科棟建設予定／教室棟の新設／エレベータ、多目的トイレ／FM補聴システム

### 【肢体不自由】

廊下・階段手すり／電熱交換機が各教室設置／聴能室／聴覚障害部門にデジタル補聴援助システムを導入した。／地域支援室、検査室、自立活動室、プレイルーム、多目的トイレ／全館空調設備の設置／水治室 運動学習室 言語学習室／水治訓練用プールの設置、バリアフリー、スロープ、避難用ゴンドラの設置／水治訓練室（室内温水プール）／身体障害者用トイレ／食品加工室など／職業に関する教科を実施するための実習室／床暖房、遊具用教室天井釣り具、大型電子掲示ディスプレイ等／床暖房、体育館冷房化／床暖房／車椅子対応のゴムチップのグラウンド／実習作業棟／自立活動棟／自立活動室、

水治訓練質／自動点灯、自動手洗、多機能便座／産業科棟建設予定／校内に福祉機関のパン喫茶工房を設置、本校生徒の作業学習に活用／校舎のバリアフリー化／空調設備、エレベーターの設置／教室棟の新設／完全バリアフリーにはなっていない。特にプールや体育館は改修が不十分。／快適トイレ、エレベータ／温水プール、自立活動室／温水プール、スヌーズレール／ユニバーサルトイレ／スロープ、エレベーター等肢体不自由の児童生徒の移動が容易であり、トイレ、水治訓練用プール等、環境が整っている。／スロープ エレベーター 電子黒板／スクールバスプラットホームなど／オストメイト対応トイレ、教育相談室／オープンライブラリー／オープンスペースプレールーム／エレベーター、避難用スロープ、洋式トイレ／エレベーター、3F までのスロープ／エレベータ、多目的トイレ

#### 【知的障害】

老朽化／廊下・階段手すり／調理室／聴能室／聴能検査機器／聴覚障害部門にデジタル補聴援助システムを導入した。／地域支援室、検査室、自立活動室、プレイルーム、多目的トイレ／知的障害教育部門の校舎増築／全館空調設備の設置／専門教科学習のため業務用機材を兼ね備えたクリーニング室の整備／赤外線補聴システム／水治室 運動学習室 言語学習室／水治訓練室（室内温水プール）／身体障害者用トイレ／新校舎建築／食品加工室など／食品加工室、ピッキング室／職業に関する教科を実施するための実習室／床暖房、遊具用教室天井釣り具、大型電子掲示ディスプレイ等／床暖房、体育館冷房化／車椅子対応のゴムチップのグラウンド／実習作業棟／自立活動室、水治訓練質／自動点灯、自動手洗、多機能便座／産業科棟建設予定／校内に福祉機関のパン喫茶工房を設置、本校生徒の作業学習に活用／校舎のバリアフリー化／県立こころの医療センター内に設置／空調設備、エレベーターの設置／教室棟の新設／完全バリアフリーにはなっていない。特にプールや体育館は改修が不十分。／快適トイレ、エレベータ／温水プール、スヌーズレール／ユニバーサルトイレ／スロープ、エレベーター等肢体不自由の児童生徒の移動が容易であり、トイレ、水治訓練用プール等、環境が整っている。／スロープ エレベーター 電子黒板／スクールバスプラットホームなど／オープンライブラリー／オープンスペースプレールーム／エレベーター、避難用スロープ、洋式トイレ／エレベーター、3F までのスロープ

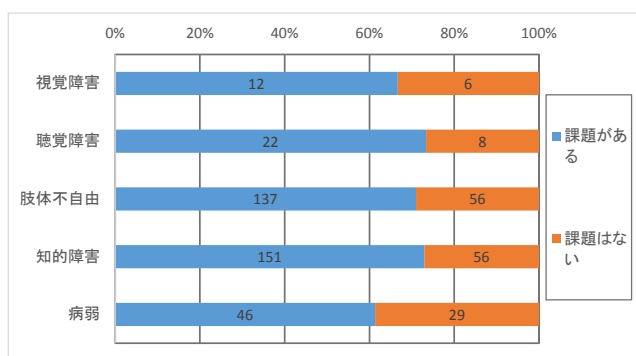
#### 【病弱】

電熱交換機が各教室設置／知的障害教育部門の校舎増築／専門教科学習のため業務用機材を兼ね備えたクリーニング室の整備／水治訓練用プールの設置、バリアフリー、スロープ、避難用ゴンドラの設置／食品加工室など／床暖房、遊具用教室天井釣り具、大型電子掲示ディスプレイ等／視覚障害教育支援センター開設／産業科棟建設予定／校舎のバリアフリー化／県立こころの医療センター（精神科）内に設置／教室棟の新設／温水プール、自立活動室／ユニバーサルトイレ／オストメイト対応トイレ、教育相談室



【121】併置校化による施設設備上の課題について、お答えください。《単一選択》

	課題がある	課題はない
合計	172	73
%	(70.2)	(29.8)
視覚障害	12	6
%	(66.7)	(33.3)
聴覚障害	22	8
%	(73.3)	(26.7)
肢体不自由	137	56
%	(71)	(29)
知的障害	151	56
%	(72.9)	(27.1)
病弱	46	29
%	(61.3)	(38.7)



## ■課題内容

### 【視覚障害】

聴覚障害者に対するハード面が不十分／聴覚障害に配慮した教室等／車椅子生徒の階上への移動がエレベーターのみであり、災害時の避難体制に課題／視覚・聴覚障害者への対応／在籍人数の想定を超えており、指導教室、特別教室等が不足している／教室数の不足／各障害に対応する検査室等

### 【聴覚障害】

普通教室及び特別教室が足りない。／特別教室の不足／聴覚障害者に対するハード面が不十分／聴覚障害に配慮した教室等／聴覚障害に対応した教室／車椅子生徒の階上への移動がエレベーターのみであり、災害時の避難体制に課題／実習施設がなく、地域の施設で福祉に関する作業学習を行っている。／視覚・聴覚障害者への対応／施設の老朽化／在籍人数の想定を超えており、指導教室、特別教室等が不足している／校舎一部を実習場所に改装して充てたが、不足している／既存の施設を活用しているため、特別教室が足りない。／学齢に見合った施設設備／各障害に対応する検査室等／バリアフリーになっていない／スロープ、機能訓練室

## 【肢体不自由】

理科室等、専門教室の不足／母体校の設備の老朽化／分校教職員の服務管理／普通教室及び特別教室が足りない。／敷地が狭い スロープ未設置等／病院内設置のため十分な指導スペースを確保しにくい。／年々、児童生徒数が増えている。／特別教室等の不足と使用時間調整、運動場の狭小化、行事等において全校児童生徒・職員が収容できる場所の不足／特別教室及び教材・備品不足／特別教室の不足、校舎仕様が知的障害向けになっていない／同一校舎を使用しているため、大多数を占める知的障害教育の仕様が基本となっており、肢体不自由教育には不便な箇所が多い。／聴覚障害者に対するハード面が不十分／聴覚障害に配慮した教室等／知的障害特別支援学校を一部改装したので学校全体では使いづらい／知肢併置校であるがスロープがない。／段差解消や手すりの設置等の改修・補修工事を行ったが、扉が狭いところや凹凸のある材質の廊下等があり移動する時に不自由である。また、運動場や体育館は肢体不自由児を対象に作られていないので、いろいろと不都合が生じている。／段差の解消不足、エレベーターの不足／単独校時代の施設設備の老朽化／体力に差があるため、感染症対策／体育館が一つ（利用率が高い）／体育館、プールが狭い／多用途教室の必要性／全校的なバリアフリー化／設備が小中学生用のため、高等部生徒の使用が難しい。高等部教科備品の収納場所が不足。／生徒数の増加による教室不足、狭隘化／身障者用トイレの増設／障がいのニーズに見合う施設・設備の不足等／小学校内の間借りのため、教室が不足。／小学校を改修したことによる老朽化（築40年以上）／車椅子生徒の階上への移動がエレベーターのみであり、災害時の避難体制に課題／実態からくる施設設備の使いづらさ／実験室等、特別教室の設置／自立活動室の確保／児童生徒数の増加による過大規模化／児童生徒の増加に伴う教室不足、特に重度肢体不自由児童生徒に対する安全面上の課題／視覚・聴覚障害者への対応／肢体部門のトイレ、物品等の置き場の不足、自家用車送迎用の場所等／肢体不自由用の教室環境が不十分／肢体不自由部門の施設不足／肢体不自由、医療的ケアに対応する施設設備が不十分／施設設備は充実しているが、実際に使用する場合の消耗品等の不足／作業や実習、特別教室の不足／高等学校内設置の分教室のため特別教室の共有に課題／高校校舎を改修して開校した学校であるので、肢体不自由生徒のことを考えると移動面や空調関係で課題が見られる。／校内にEV使用できないときのためのスロープがない／教室の移動距離が長い／寄宿舎の肢体不自由対応浴槽／各障害に対応する検査室等／医療的ケア・病弱児への対応／異障がい種混在による共通動線上の安全確保／プレハブであり寒暖に影響を受けやすい、各教室が狭い。／バリアフリー施設・設備の充実／トイレ等の設備、段差の解消／スノーズレン室の確保／クールダウン等の部屋がない／エレベーターが小さくストレッチャー対応でない。

## 【知的障害】

理科室等、専門教室の不足／母体校の設備の老朽化／分教室での教室不足／普通教室不足、厨房の拡張、スクールバスの増便／敷地が狭い スロープ未設置等／特別教室等の不足と使用時間調整、運動場の狭小化、行事等において全校児童生徒・職員が収容できる場所の不足／特別教室やグラウンド、体育館が狭いため障害種別の学習が難しい。／特別教室の不足、校舎仕様が知的障害向けになっていない／同一校舎を使用しているため、大多数を占める知的障害教育の仕様が基本となっており、肢体不自由教育には不便な箇所が多い。／聴覚障害者に対するハード面が不十分／知的障害特別支援学校を一部改装したので学校全体では使いづらい／段差解消や手すりの設置等の改修・補修工事を行ったが、扉が狭いところや凹凸のある材質の廊下等があり移動する時に不自由である。また、運動場や体育館は肢体不自由児を対象に作られていないので、いろいろと不都合が生じている。／体力に差があるため、感染症対策／体育

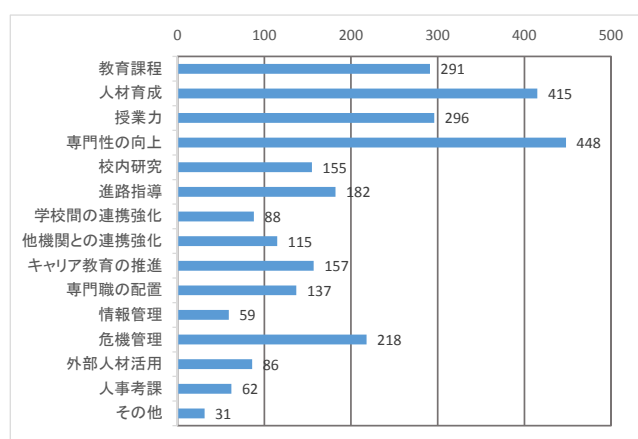
館が一つ（利用率が高い）／体育館、プールが狭い／多用途教室の必要性／全校的なバリアフリー化／設備不足と老朽化／生徒数の増加による教室不足、狭隘化／身障者用トイレの増設／職業科生徒増加による教室数不足／障がいのニーズに見合う施設・設備の不足等／小学校内の間借りのため、教室が不足。／小学校を改修したことによる老朽化（築40年以上）／車椅子生徒の階上への移動がエレベーターのみであり、災害時の避難体制に課題／実習施設がなく、地域の施設で福祉に関する作業学習を行っている。／自立活動教室の整備／児童生徒の増加に伴う教室不足、特に重度肢体不自由児童生徒に対する安全面上の課題／視覚・聴覚障害者への対応／肢体部門のトイレ、物品等の置き場の不足、自家用車送迎用の場所等／肢体不自由用の教室環境が不十分／肢体不自由、医療的ケアに対応する施設設備が不十分／施設設備は充実しているが、実際に使用する場合の消耗品等の不足／高等学校内設置の分教室のため特別教室の共有に課題／高校校舎を改修して開校した学校であるので、肢体不自由生徒のことを考えると移動面や空調関係で課題が見られる。／校内にEV使用できないときのためのスロープがない／空調設備／教室数の不足、駐車場の不足／教室の移動距離が長い／寄宿舎の肢体不自由対応浴槽／学齢に見合った施設設備／各障害に対応する検査室等／異障がい種混在による共通動線上の安全確保／プレハブであり寒暖に影響を受けやすい、各教室が狭い。／スヌーズレン室の確保／グラウンドがない、体育館が高校生向きではなくせまい。／クールダウン等の部屋がない

#### 【病弱】

理科室等、専門教室の不足／本校と離れているため、教職員のサービス管理が困難／分教室での教室不足／病院内設置のため十分な指導スペースを確保しにくい。／年々、児童生徒数が増えている。／特別教室の不足／聴覚障害者に対するハード面が不十分／単独校時代の施設設備の老朽化／設備が小中学生用のため、高等部生徒の使用が難しい。高等部教科備品の収納場所が不足。／職業科生徒増加による教室数不足／障がいのニーズに見合う施設・設備の不足等／車椅子生徒の階上への移動がエレベーターのみであり、災害時の避難体制に課題／児童生徒数の急増による教室、トイレ、更衣室等の不足。／視覚・聴覚障害者への対応／肢体不自由部門の施設不足／施設設備は充実しているが、実際に使用する場合の消耗品等の不足／教室数の不足、駐車場の不足／医療的ケア・病弱児への対応／異障がい種混在による共通動線上の安全確保／トイレの不足や廊下の幅が狭いなど／グラウンドがない、体育館が高校生向きではなくせまい。／エレベーターが小さくストレッチャー対応でない。

【122】併置校化による学校運営上の課題について、お答えください。《複数選択可》

	教育課程	人材育成	授業力	専門性の向上	校内研究	進路指導	学校間の連携強化	他機関との連携強化	キャリア教育の推進	専門職の配置	情報管理	危機管理	外部人材活用	人事考課	その他
合計	136	190	144	208	77	91	39	58	80	63	30	100	41	31	15
%	(54.4)	(76)	(57.6)	(83.2)	(30.8)	(36.4)	(15.6)	(23.2)	(32)	(25.2)	(12)	(40)	(16.4)	(12.4)	(6)
視覚障害	8	15	6	15	3	3	4	4	2	5	0	6	3	2	3
%	(44.4)	(83.3)	(33.3)	(83.3)	(16.7)	(16.7)	(22.2)	(22.2)	(11.1)	(27.8)	(0)	(33.3)	(16.7)	(11.1)	(16.7)
聴覚障害	13	24	14	25	6	9	8	5	3	4	3	9	2	3	3
%	(43.3)	(80)	(46.7)	(83.3)	(20)	(30)	(26.7)	(16.7)	(10)	(13.3)	(10)	(30)	(6.7)	(10)	(10)
肢体不自由	115	156	120	168	66	73	30	46	67	58	23	91	37	26	9
%	(58.1)	(78.8)	(60.6)	(84.8)	(33.3)	(36.9)	(15.2)	(23.2)	(33.8)	(29.3)	(11.6)	(46)	(18.7)	(13.1)	(4.5)
知的障害	118	163	119	176	61	77	33	42	71	55	29	91	33	25	13
%	(55.9)	(77.3)	(56.4)	(83.4)	(28.9)	(36.5)	(15.6)	(19.9)	(33.6)	(26.1)	(13.7)	(43.1)	(15.6)	(11.8)	(6.2)
病弱	37	57	37	64	19	20	13	18	14	15	4	21	11	6	3
%	(47.4)	(73.1)	(47.4)	(82.1)	(24.4)	(25.6)	(16.7)	(23.1)	(17.9)	(19.2)	(5.1)	(26.9)	(14.1)	(7.7)	(3.8)



さいごに

運営上、人員の数や施設設備の不備が多く回答されている。ただしこれは併置校に限ったことではなく、単独校でも常に問題が顕在化している部分であることが調査全体から見て取れる結果となった。

【本集計に関する特記事項】

※1校で「障害種別」を複数回答されている為、各障害種別の「合計」と、「回答校数合計」の数量は一致しません。

※複数回答されている設問のため、各設問の「合計」と、「回答校数合計」の数量は異なります。